

令和7年6月26日 発表

中小企業月次景況調査結果

令和7年5月分

～令和7年5月 データから見た業界の動き～

令和7年6月26日 発表

非製造業ではすべてのD.I値が低下
夏に向け国等による物価高騰対策や需要拡大策に期待



山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

令和7年6月26日 発表

非製造業ではすべてのD.I値が低下 夏に向け国等による物価高騰対策や需要拡大策に期待

■ 概 況

5月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 ▲16ポイント（前年同月比 2ポイント↓）

収益状況 ▲28ポイント（前年同月比 2ポイント↓）

景況感 ▲30ポイント（前年同月比 10ポイント↓）

となり、すべてのD.I値が前年同月を下回った。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲15ポイント（前年同月比 10ポイント↑）

収益状況 ▲35ポイント（前年同月比 ±0ポイント）

景況感 ▲40ポイント（前年同月比 5ポイント↓）となった。

「売上は僅かに増加したが、コスト増加分を販売価格に転嫁しきれず収益状況は悪化（酒類製造業）」「売上・仕事量は増加したが、先行きは低調に推移すると予測（木材・木製品製造業）」など、売上は増加した一方、長引くコストの増加に価格転嫁が追い付いていない事業者が多く、売上高D.I値は改善したものの、収益状況D.I値は横ばいとなった。

また、「中国バイヤーの売上が伸び悩んでいる（貴金属・宝石製品製造業）」「消費者の購買意欲低下が需要の停滞を引き起こす恐れを懸念（織物業）」「業界全体で設備関連の生産が落ち込んでいる。アメリカ関税により生産拠点が国内から海外に移る懸念や、日産・パナソニックの工場閉鎖等の影響もあり先行き不透明な状況が続く見込み（業務用機械器具製造業）」「半導体製造装置関連は低迷が続き今年中の回復は見込めないとの声が多い（電気機械器具製造業）」を例に先行きを不安視する報告が多く、景況感D.I値が低下した。

一方、非製造業では…

売上高 ▲17ポイント（前年同月比 10ポイント↓）

収益状況 ▲23ポイント（前年同月比 3ポイント↓）

景況感 ▲23ポイント（前年同月比 13ポイント↓）となった。

「ゴールデンウィークで宿泊予約が好調（宿泊業）」「ゴールデンウィークのイベント警備や公共事業の受注が多かった（警備業）」など大型連休のイベントや人流増加による好影響を受けた業種もあったが、「地金の高止まりによって受注量が減少、海外・国内への販売量も減少（ジュエリー製品卸売業）」「物価高騰により個店の売上・収益状況も悪化（商店街）」と一部業界では消費の停滞も見られ、売上高・景況感D.I値は低下した。仕事量減少に伴い建設業からは、「県外企業が価格を下げて仕事を取りに来ており組合員への悪影響を懸念（鉄骨・鉄筋工事業）」とダンピングによる影響を懸念する報告があった。

燃料高騰を背景に再び政府によるガソリン補助金が開始されたが、運送業からは「燃料価格が僅かに低下したが、依然として高止まりが続いている（道路貨物運送業）」「燃料高騰・人件費上昇のため価格転嫁が必要（道路旅客運送業）」との声があり、ガソリン補助金の効果は薄いとの見方もある。

また、「人材不足の組合員施設では、既存従業員の負担増加、サービスの質低下等が起きないよう対策に苦慮（宿泊業）」「警備員の高齢化や採用希望者の減少によって人手不足が深刻（警備業）」と、人手不足への対応に苦慮する報告も寄せられた。

国では「給湯省エネ2025事業（電気機械器具小売業）」、「燃料油価格定額引下げ措置（道路貨物運送業）」など物価高騰対策や需要拡大のための施策を打ち出している。地方公共団体でも「paypay10%還元セール（大月市）」など消費拡大のための取り組みを進めており、多くの産業がこうした施策に期待を寄せている。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化しています。お気軽にご相談ください。

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	昨年は大口注文があったが今期はなく、売上は前年同月と比べ78.3%となった。為替の影響で一部原材料価格が下落し、製造コストが低減された。
食料品 (洋菓子製造業)	店舗数の増加などによって、前年同月と比べ売上は102.3%となった。4月より販売商品を10%値上げしたが、消費者の買い控えも見られず販売数量への影響はなかった。
食料品 (パン・菓子製造業)	前年同月と比べ売上は10%増加しているものの、原材料、包材、光熱費、運送賃の値上げが利益を圧迫している。利益を確保できる商品単価を設定する必要がある。
食料品 (酒類製造業)	前年同月と比べ売上は僅かに増加したが、コスト増加分を販売価格に転嫁しきれず収益状況は悪化した。酒類離れが進み、販売数量増加の見通しも立たない。
繊維・同製品 (織物)	原材料価格の上昇に伴い仕入単価も上昇しているが、製品への価格転嫁が進まず経営を圧迫している。
繊維・同製品 (織物)	物価やエネルギー価格の高騰で、原材料費・人件費をはじめとした諸経費の増加が見込まれるなど経営環境は悪化している。消費者の購買意欲低下が、需要の停滞を引き起こす恐れを懸念している。
木材・木製品製造	前年同月と比べ売上は27%、仕事量は14%それぞれ増加したが、先行きは低調に推移すると予測される。
窯業・土石 (砂利)	前年同月と比べ売上は▲15%、収益状況は▲5%となった。年度替わりの時期で工事量の減少に伴い骨材需要も減少した。官公需・民需ともリニア関連以外では需要の見込める工事がほぼない。
窯業・土石 (山碎石)	前年同月と比べ売上は14%増加した。出荷量について道路用資材は伸び悩んでいるが、コンクリート用資材は好転している。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	前年同月と比べ売上は▲3%と、わずかに減少した。
一般機器 (業務用機械器具製造業)	昨年から業界全体で設備関連の生産が落ち込み、前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲25%となった。アメリカ関税により生産拠点が国内から海外に移る懸念や、日産・パナソニックの工場閉鎖等の影響もあり先行き不透明な状況が続く見込み。
電気機器 (電気機械部品加工業)	行政機関の年度末を過ぎて全体的に端境期であることや仕入品の高騰が続いていることから、前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲10%となった。 組合では、久しぶりに組合員の新規加入があった。 アメリカ関税による日本経済への今後の影響を注視している。
電気機器 (電気機械部品加工業)	半導体製造装置関連は低迷が続き、前年同月と比べ売上は▲10%、収益状況は▲15%となった。今年中の回復は見込めないとの声が多い。 半導体関連以外の業界(防衛関係など)は比較的良好であるが、医療関連は停滞気味である。
宝飾 (研磨)	5月に神戸国際宝飾展(IJK)が開催された。中国バイヤーの売上は伸び悩んだが、東南アジアのバイヤーへの売上は多かった。

● 非製造業

卸売 (ジュエリー)	前年同月と比べ売上は▲20%、収益状況は▲25%となった。地金の高止まりによって受注量が減少、海外・国内への販売量も減少している。 地金の仕入れは現金取引のため現預金の減少が早く、資金繰りが悪化している。
---------------	---

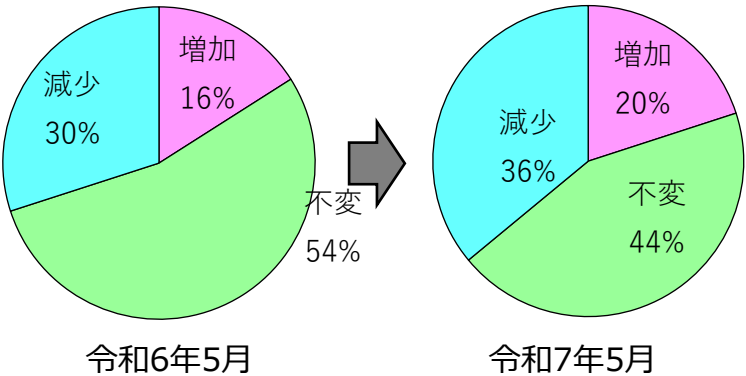
小 売 (青 果)	キャベツ、レタスなどの葉物野菜は月半ばより値下がりし、下旬にはレタスが最安値となった。果物ではハウスのサクランボは不作だったが、売れ行きは順調だった。
小 売 (水産物)	前年同月と比べ売上は104%となったが、売上増加は一時的なものと考えている。帝国データバンクの発表によると6月に1900品目が値上げされるが、水産関係では海苔製品の値上げによる影響を懸念している。
小 売 (電気機械器具小売業)	夏に向けエアコン需要は好調であるが、テレビを中心とした黒物家電（趣味・娯楽を主な目的とした家電製品）は販売価格下落の影響もあり、売上が前年同月を下回った。 エコキュートは国の補助金（給湯省エネ2025事業）があるため堅調に推移している。
商 店 街	大月駅周辺に有料駐車場が乱立している影響で駐車場の売上は減少、物価高騰により個店の売上・収益状況も悪化している。 6月に大月市でpaypay10%還元セールが行われるため、需要拡大を期待している。
宿 泊 業	ゴールデンウィークで観光客が増加、ビジネス客の動きも活発で、宿泊予約が好調であった。 人材不足の組合員施設では、既存従業員の負担増加、サービスの質低下等が起きないよう対策に苦慮している。
一般廃棄物処理	一般廃棄物業界では、自治体からの委託業務を担う公益性の高い企業と、民間事業所との契約業務のみを行う企業に二分されている。前者は業界団体に加入している一方、後者は未加入であることが多く、業界団体では加入を推奨しているものの状況は芳しくない。数年後に予定されている県内広域処理センターの集約化に先立ち、業界結束に向けた体制整備を本格化させる必要がある。
警 備 業	ゴールデンウィークのイベント警備や公共事業の受注が多く、前年同月と比べ売上は10%増加した。 警備員の高齢化や採用希望者の減少によって人手不足が深刻である。
建 設 業 (総 合)	5月の県内公共工事は、前年同月比で▲5.3%となったが、請負金額は4.6%増加した。5月末累計では、件数は▲4.9%となったが、請負金額は9.6%増加した。
建 設 業 (型 枠)	建築・土木の仕事が徐々に出てきたが、秋以降の見通しは良くない。今後、材料費の高止まりや人件費の高騰、夏の猛暑による業務能率低下が経営を圧迫すると予想される。 職人の高齢化が進み、若手は技能実習生が大半を占めている。
建 設 業 (鉄 構)	仕事量は会員企業により差があるが、全体では前年同月と比べ▲10%となった。業界全体の仕事量が減少していることから、県外企業が価格を下げて仕事を取りに来ているため、県内企業への悪影響を懸念している。
設 備 工 事 (電気工事)	業界全体で景気低迷の傾向にある。景気回復には物価上昇の動向が重要な要因であると考えているため動向を注視していく。
設備工事 (管設備)	組合員の減少が続き、新規加入の見通しもない。魅力ある組合活動を行い業界を発展させるために、引き続き若手技術者の育成等に尽力したい。
運 輸 (バ ス)	ゴールデンウィークの稼働が少なく前年同月と比べ売上は▲10%となった。燃料高騰・人件費上昇のため、価格転嫁を進める必要がある。
運 輸 (トラック)	5月22日から国が燃料油価格定額引下げ措置を実施したことで燃料価格が僅かに低下したものの、依然として高止まりが続いている。5月には業界内で大型倒産も見受けられた。さらに令和7年4月に改正された物流効率化法、貨物自動車運送事業法への対応が求められるなど、業界を取り巻く環境は厳しさを増している。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
対前年・前月・当月	2024年5月	2025年4月	2025年5月	2024年5月	2025年4月	2025年5月	2024年5月	2025年4月	2025年5月
売 上 高	▲ 25	▲ 5	▲ 15	▲ 7	▲ 7	▲ 17	▲ 14	▲ 6	▲ 16
収 益 状 況	▲ 35	▲ 30	▲ 35	▲ 20	▲ 17	▲ 23	▲ 26	▲ 22	▲ 28
景 況 感	▲ 35	▲ 45	▲ 40	▲ 10	▲ 13	▲ 23	▲ 20	▲ 26	▲ 30

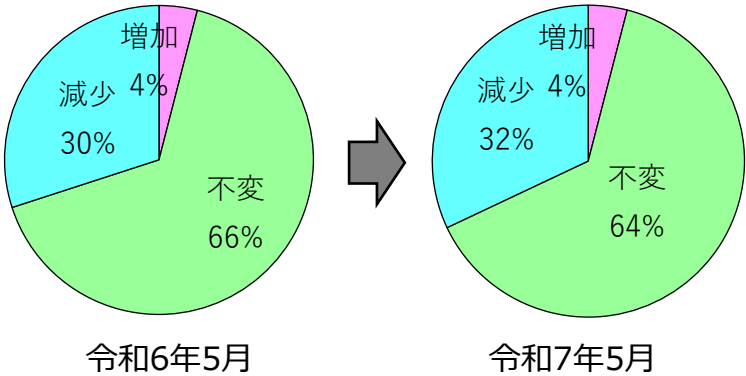
※(（良数値÷対象数）×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

売 上 高（前年同月比）



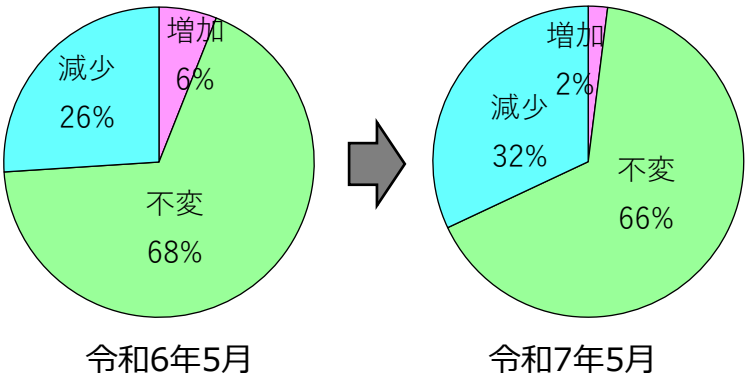
- ・D I 値▲16（前年同月比▲2）
- ・業種別D I 値
 - 製 造 業 ▲15(前年同月比+10)
 - 非製造業 ▲17(前年同月比▲10)
- ・前月比D I 値
 - 製 造 業 ▲10
 - 非製造業 ▲10

収 益 状 況（前年同月比）



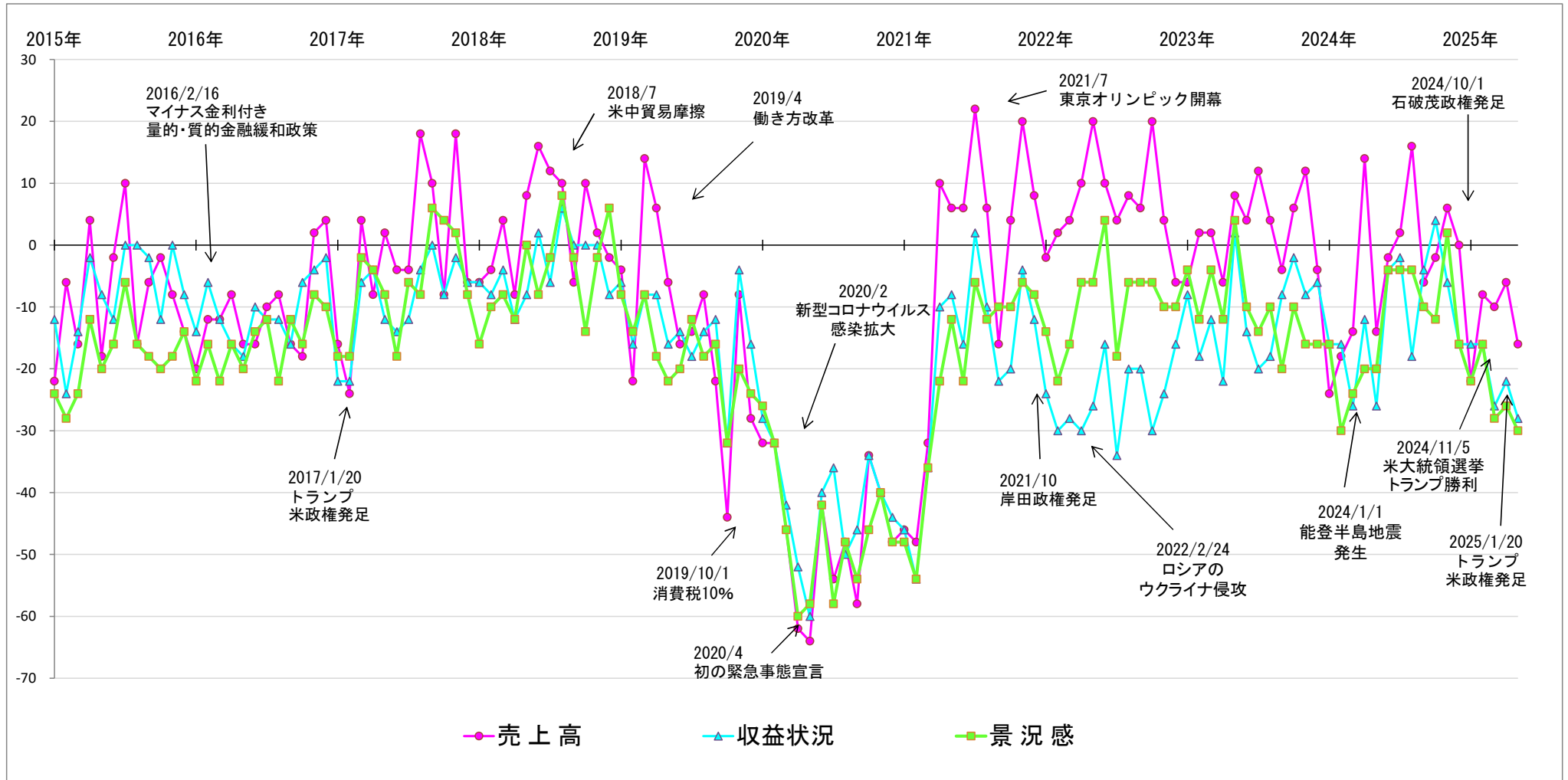
- ・D I 値▲28（前年同月比▲2）
- ・業種別D I 値
 - 製 造 業 ▲35(前年同月比±0)
 - 非製造業 ▲23(前年同月比▲3)
- ・前月比D I 値
 - 製 造 業 ▲5
 - 非製造業 ▲6

景 況 感（前年同月比）

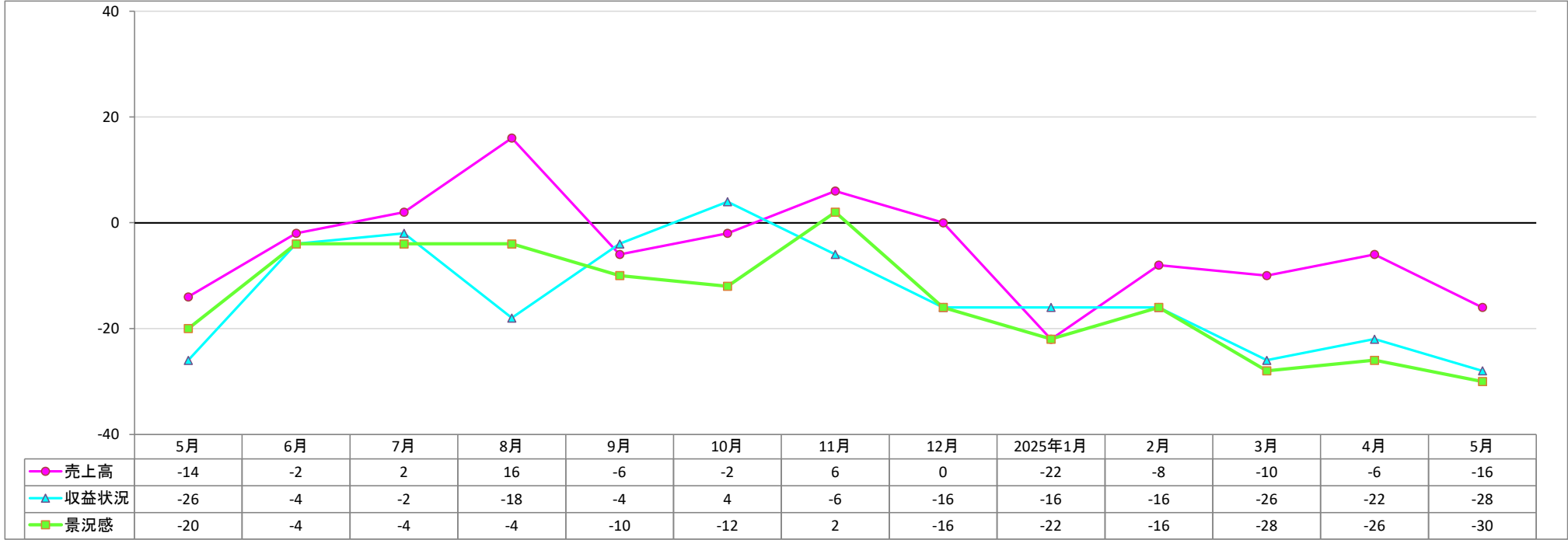


- ・D I 値▲30（前年同月比▲10）
- ・業種別D I 値
 - 製 造 業 ▲40(前年同月比▲5)
 - 非製造業 ▲23(前年同月比▲13)
- ・前月比D I 値
 - 製 造 業 + 5
 - 非製造業 ▲10

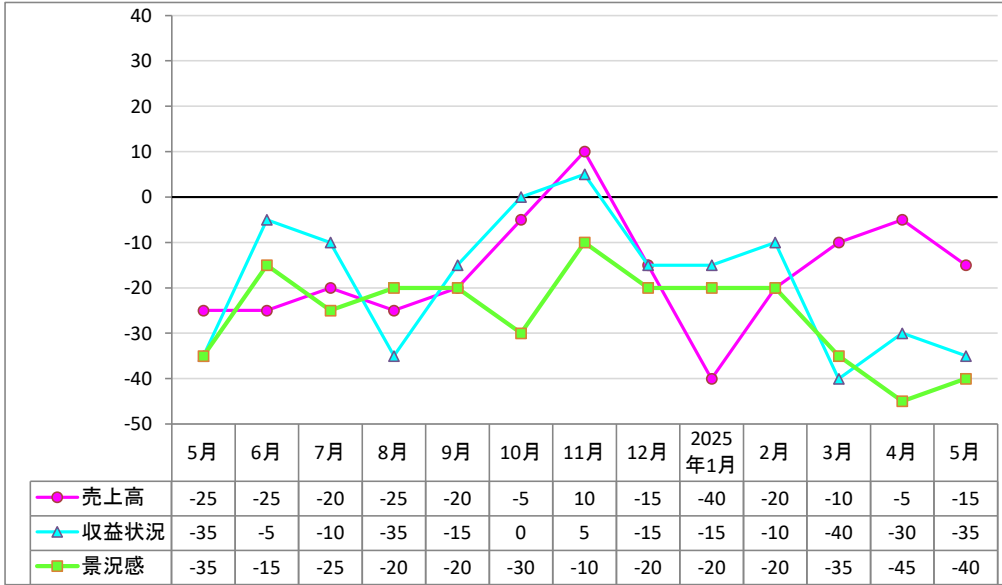
D.I値の推移①(過去10年間) 2015年1月～2025年5月



D.I値の推移②(過去1年間) 2024年5月～2025年5月



【製造業】



【非製造業】

